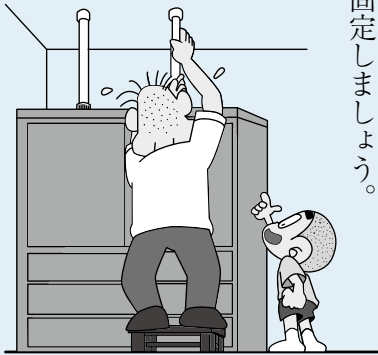


## 命を守る3つのポイント



阪神・淡路大震災では、死者の8割以上が家屋の倒壊や家具などの転倒による圧迫死でした。特に、寝る場所や居間など、よくいる場所の家具や家電製品が倒れないように固定しましょう。

### 家具などの 転倒防止対策

日中、自宅や職場、学校など家族が離れ離れの際にも災害は起こります。日頃から、防災マップで自宅近くの避難所や職場近くの避難所、避難経路、緊急時の連絡方法などを家族で話し合い、確認しておきましょう。



### 避難場所や連絡方法を 家族で話し合う

保存性が良く、食べ慣れたものを少し多めに買い置き

③ 買い足す



ローリングストック



② 食べる

① 備える

備蓄品（ストック）は、1人につき最低3日分の水と食料を準備しておきましょう。また、備蓄した食料品は、消費期限などを確認して定期的に食べ、食べた分を買い足すこと（ローリングストック）で、無駄がありません。

### 3日以上の水と食料の 持ち出し準備

# 目指そう、「自助力日本一」！ 自分の命は、 自分で守る



災害時の被害を最小限に抑えるための防災や減災活動は、地域の皆さん一人一人の「自助」の積み重ねがあって初めて成り立ちます。この機会に、日頃から自分の命の守り方を考えてみましょう。

◎問い合わせ 危機管理課 ☎23-2129

### 「自助」は防災の基本

大規模な災害が発生したとき、被害の拡大を防ぐためには、行政機関が中心となる「公助」だけでは早急な対策を取る事が難しいため、自助・共助の取り組みが極めて重要です。

特に、自分の命は自分で守る「自助」は、防災の基本。自分の命を守ることで、家族や友人、隣人などを助け、協力し合う「共助」に

## 避難の心構え

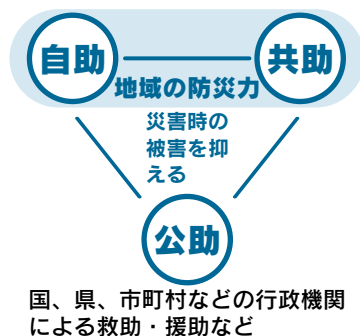
早めに逃げる！  
「命を守る」判断ができるのは、「自分」です

市は、災害につながる大雨や地震などに対して避難情報を発令します。災害時にはそれらの情報や身の周りの状況などを確認し、一人一人が状況判断しながら、自分で気付き、考え、行動することが大切です。



自分の身は自分で守る

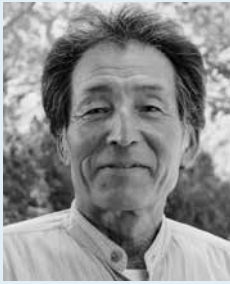
地域や近隣の人が互いに協力し合う



つながり、地域の防災力を高めることができます。



## 図上訓練で、身の周りの危険箇所を確認！



高城第13自治公民館館長  
二見 法雄さん

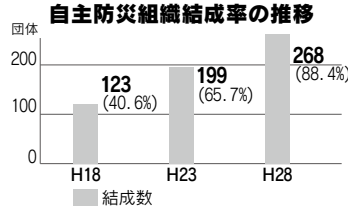
今年で7年目を迎えた自主防災訓練で、初めて図上訓練を行いました。

防災士の指導の下、当地区の白地図を見ながら、主要な道路や公的施設を書き込み、土砂崩れや浸水などの危険箇所、昭和56年以前

に建てられた民家などを確認しながら図示。住民408人のうち65歳以上の方が189人（高齢化率約45%）で、1人暮らしも多い当地区内の避難所までの経路を、地震や大雨などを想定しながら確認しました。

今回の訓練を通して、住民同士が話し合い、自分の安全確保のための避難経路などを確認できたのは、とても良かったと思います。

一人一人の「自助」が集まり機能する  
自主防災組織  
【地域のごとは地域で守る】  
阪神・淡路  
大震災では、生き埋めになつた人を救出したのは、自衛隊や消防などが約19割であったのに対し、近隣住民による救出



は約77割でした。このことから「地域のごとは地域で守る」という考え方が全国に広まり、本市でも自治公民館303館のうち、268の自主防災組織が結成されていて、組織率は88・4割となっています。

### 【自主防災組織の主な役割】

- ① 出火防止や初期消火、救助など、近隣での助け合い
- ② 安否や被害状況の把握
- ③ 避難誘導や一人で避難することが困難な人への支援
- ④ 地区内での初期消火や救出活動
- ⑤ 避難所運営

### 【防災力の強化につながる地域コミュニティの活性化】

地域防災力の強化のためには、日頃から住民同士で声掛けしたり、地域で活動したりなどの地域コミュニティの活性化が重要です。

### 【求められる多様な連携】

女性や子どもなど幅広い世代の参加を促し、地域の防災意識の高揚を図るため、消防団や災害ボランティア、事業所など、地域の多様な組織との連携が求められています。



## ▼いざというときの連絡先を再確認▼

消防・救急 「119」 | 警察 「110」  
災害用伝言ダイヤル 「171」

道路の被害 側溝・排水路などの氾濫	維持管理課 ☎23-2752
田畑の土手崩れ	農村整備課 ☎23-2981
避難所	コミュニティ文化課 ☎23-7146
浸水家屋の消毒	環境政策課 ☎23-2130
水道の断水	上下水道局 ☎23-4510
り災証明、 災害全般・災害救助資金融資制度	危機管理課 ☎23-2129

## ▼災害時に役立つ情報を入手して自助力を高めよう！▼

### 【Yahoo! 防災速報】

今年の9月14日(木)から、災害時に市の情報が配信されます。

<https://emg.yahoo.co.jp>



### 宮崎県防災・防犯情報メールサービス

気象に関する情報のほか、避難情報を随時配信します。



### 【九州電力携帯メールサービス】

停電情報などを確認できます。

(株)九州電力都城営業所 ☎ 0120-986-705



### スマートフォンアプリ「みたチョ」

最寄りの避難所の位置などを確認できます。



※このほか、都城市ホームページやフェイスブックでも情報を発信しています



# 中心市街地中核施設の 「愛称」と「ロゴデザイン」が 決まりました



現在、整備を進めている中心市街地中核施設（図書館など8施設）は、12月に全ての施設が竣工し、来春、開業する予定です。今回は、このほど決定した中核施設全体および子育て世代活動支援センターの愛称と、ロゴデザインを紹介します。これらの愛称とロゴは、施設サインや刊行物などに活用していきます。

◎問い合わせ 商工政策課 電話 23-2983

現在、整備を進めている中心市街地中核施設は、図書館や屋根付き多目的広場など8つの施設が集まった複合施設です。

各施設の正式な名称に加え愛称まで名付けると、市民の皆さんの混乱を招く恐れがあったことから、当初は愛称を付ける計画はありませんでした。しかし、建設が進む中で、親しみやすい名称を求める意見が多く寄せられたため、完成までの時間を考慮しながら、検討委員会を組織して、市民の皆さんに親しんでもらえる愛称やロゴを作成しました。

## 中核施設全体の愛称

「MALLMALL(まるまる)」

### ●愛称の由来

「MALL」とは、まちの中心を意味し、人々が集い、さまざまな活動をする場所です。これを2つ重ねて、イギリス風に「まるまる」と読むことで、柔らかく親しみやすい施設であることがイメージできます

### ●選定理由

「まちの中心」を意味するこの言葉は、中核施設の位置付けを適確に表

Mallmall

現。そして、「まるまる」と読むことで、そのかわいらしい印象に加えて旧都城大丸も連想でき、幅広い世代の市民の皆さんに、愛着を持ってもらえることが期待されます

### ●ロゴデザイン

岐阜市在住で、図書館のサイン表示のグラフィックデザインを手掛ける井口仁長（じんちやう）さんが作成。井口さんは、グッドデザイン賞2回の受賞歴があります

## 子育て世代活動支援センターの愛称 「ぶれびか」

### ●愛称の由来

「いない、いない、ばあ」（＝Play Peekaboo＝プレイピカブウ）を略したもので、小さな子どもをあやす姿を表現しました

### ●選定理由

「Play Peekaboo」というこの表現は、新しい子育て支援施設の利用者である、乳幼児とその保護者を優しく出迎える、その由来からも、広く市民の皆さんに定着していくことが期待されます



# 昭和を見てきた道具展

## ～回想 童心に返るひととき～



毎年恒例の「むかしの道具展」。今回は2つのテーマを設け、道具が日々の暮らしに根付いていく中で、物と心の両面における豊かさをいかに担ってきたかを回顧し、世代を超えた語りいの場として企画展を開催します。

◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547

### 【生活を便利にした道具】

#### ～先人の知恵と努力の結晶～

人生の節目を振り返る、大人向けの展示です。

#### ●電気洗濯機（一槽式）

昭和30年代から、一般家庭に普及しはじめた電気洗濯機。初めて手動のローラー絞りを使った主婦は、力のいる絞り作業が大幅に軽減されたことに感激しました



#### ●その他の展示資料

氷冷蔵庫、炭火アイロン、回転こたつ、昭和39年頃の家庭のどんらん風景、紙芝居自転車車の再現など

### 【胸躍らせたおもちゃたち】

今の子どもたちにとっても、新鮮で想像力をかき立てるようなレ

トロなおもちゃを展示します。

#### ●超合金ロボット・着せ替え人形

昭和40年以降の子どもに爆発的な人気を博した、おもちゃ人形玩具を展示します



#### ●その他の展示資料

メンコ、お手玉、ブリキの乗り物、コンピュータゲーム機など

#### ●会期

9月8日(金)～11月26日(日)

※月曜日休館（月曜日が祝日の場合はその翌日）。9月19日(火)・20日(水)は休館

#### ●入館料

大人210円（160円）

高校生160円（100円）

小・中学生100円（50円）

※（ ）は20人以上の団体料金

「地域経済応援ポイント」が使えるインターネット通販

# 「めいぶつチョイス」

本市の発案により、9月25日(月)から全国でスタートする、インターネット通販サイト「めいぶつチョイス」(<https://www.meibutsu-choice.jp/>)。今回は、サイトの概要などを紹介します。

◎問い合わせ 総合政策課 ☎23-7161

### めいぶつチョイスの特徴

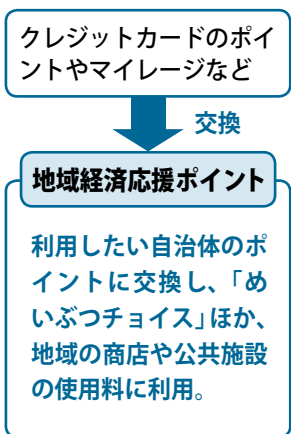
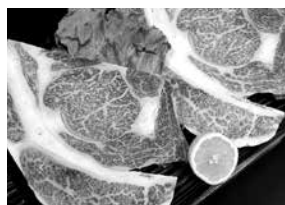
本市をはじめ、全国の自治体の魅力ある商品を販売。利用方法は、一般的な通販サイトとほとんど変わりませんが、「地域経済応援ポイント」を使えることが大きく異なります。

### 【地域経済応援ポイント】

地域の消費拡大推進のために導入される「地域経済応援ポイント」。マイレージやクレジットカードのポイントなどを、地域経済応援ポイントに交換することができます。めいぶつチョイスのほか、今後、地域の商店での買い物や公共施設の使用料などに利用できる予定です。地域経済応援ポイントを利用するには、利用したい自治体を決め、その自治体のポイントに交換する必要があります。

購入して、都城の活性化に貢献

特産品を購入することで、都市を応援できる本サイト。皆さんは、皆さんの住む都市に対して、ふるさと納税はできませんが、本サイトでは、都市の特産品を購入できます。自宅向けのほか、お中元やお歳暮などの購入に利用ください。



するためには、マイナンバーカードが必要になります



めいぶつチョイス